

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	外国籍市民交流推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・外国籍市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 市民・外国籍市民】		
	目的・目標		事業の概要
市民と外国籍市民とが様々な交流を通じて相互に理解し合い、多文化共生の社会が形成されています。		異文化への理解を深めるため、国際交流イベントをはじめ、語学教室や国際理解講座等を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	日本語講座等語学教室開催回数			単位	回
	説明・算定式	日本語講座、語学講座、日本語ボランティア養成講座等各種語学教室の開催回数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	510	560	560		
	実績	581	583	597		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	日本語講座等語学教室受講者数			単位	人
	説明・算定式	各語学講座等の受講者数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	210	280	280		
	実績	324	299	554		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
外国籍市民、市民主体の国際交流フェスティバルや国際交流事業等を実施したほか、日本語・英語・韓国語教室について多くの受講生を迎えて実施し、多文化共生社会づくりを推進しました。特に隔年で開催している日本語ボランティア養成講座には多くの参加者があり、事業を通じて相互理解が深まりました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民の国際理解、異文化理解を進めるとともに外国籍市民が暮らしやすくするための支援事業は、多文化共生社会の発展を図るうえからも必要性は高いです。	● 高 ○ 低
	有効性 <input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	多文化共生社会の発展を図るためには、継続的に事業を行う必要があります。	● 高 ○ 低
	妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	より多くの市民参加や外国籍市民への情報提供のあり方等の検討が必要です。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性 <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市はコーディネートを担当し、事業活動については、市民及び外国籍市民との協働により進めています。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 多文化共生社会が浸透していくには、様々な交流事業により多くの市民・外国籍市民に参加いただけるよう工夫し、魅力ある講座・イベントを継続的に開催する必要があります。			

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		多文化共生社会を目指した国際交流イベント・講座・教室等の開催	多文化共生社会を目指した国際交流イベント・講座・教室等の開催	多文化共生社会を目指した国際交流イベント・講座・教室等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	790	690	753
事業費 (A)		790	690	753
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 市民及び外国籍市民の参加が増加するようニーズを把握し、魅力ある講座・イベントを開催し、相互理解を図ります。
課長コメント 多文化共生社会の形成には、市民の国際理解、異文化理解につながる事業の継続性が必要と考えます。今後も関係団体と連携し、参加者の声を参考に外国籍市民との交流事業等を進めます。